

林檎の森

りんごのもり

8
2021
vol.469



特集

産地として品質の良いりんご生産を
～温暖化に適応した栽培管理へ～



産地として品質の良いりんご生産を ～新しく設定された着色目安～

飛馬ふじ研修会の内容

新しい着色目安のスタート

今年産からスタートする新しい着色目安でのリンゴ取扱い。現在、つがるでは新しい着色目安を基準に葉取作業が進められている。

この背景には、地球温暖化による夏の強い直射日光での日焼け果の多発、着色待ちによる果実の軟質化等がある。

この問題に対応する為、葉摘みの仕方や剪定方法、着色優良系統への移行が勧められている。鮮度重視の販売を主眼に置き、地色が出てきたら着色を待たずに収穫する事も目揃え会や各研修で周知している。

そこで今回、7月29日の恋空研修会、8月3日の飛馬ふじ研修会にて行った葉摘みの方法や障害果の判断方法、栽培のポイントなどを紹介していきたい。

葉を重要視した栽培管理

飛馬ふじ栽培研修会にて、講師を務めた田澤俊明さんも、葉摘み

の強弱の必要性を話していた。

飛馬ふじはもともと葉とらずサ
ンふじから発祥したものであり、
糖度を上げるために1つの果実に
どれだけの葉をつけるかが重要で
ある。日焼け対策で過剰な葉摘み
を抑えると共に、果実の糖度上昇
を見据える。

葉取作業と言えば、昔は葉をむ
しり取る人もいたと言う。葉を過
剰にむしり取ってしまうと葉の枚
数が激減して果実の糖度上昇が見
込めず、果実に直射日光が当たり
続け、日焼け果が多発する。春か
ら丁寧な薬剤散布で、病害虫から
守ってきた葉を粗末に扱わないよ
う指導していた。



葉の重要性を説明

実立ちの良いりんごが成るには

研修会場となった田澤さんの園地の飛馬ふじの生育は、玉伸びも形も良いと訪れた生産者は口をそろえて言っていた。

それを聞いた田澤さんは「今のところ形がいいのはおそらく授粉が上手くいった事が功を奏したと思っている。主幹の真ん中に授粉樹を接ぎ木したことで付近の授粉が上手くいって、実立ちも「いい」と話した。

それを聞いた参加者は、今後授粉作業にもより力を入れたいと話していた。



受粉の大切さを語る

徒長枝も必要な枝

今年の広報2月号で、徒長枝の切る枝と残す枝を絵で紹介した。今回の研修会で田澤さんは徒長枝についても話していた。

徒長枝は邪魔な枝であることから大抵は切ってしまうが、徒長枝は栄養生長が強い為、樹の根っこから養分を吸い上げる力が強い。

しかし、残り過ぎても樹の養分が徒長枝に流れる為、果実が成る枝に徒長枝があると、栄養が果実に流れずに徒長枝に奪われてしまう。また、ダニが付いたり光が遮られてしまう等といった障害も生じるのであれば切る。

2月号で紹介したように、葉が大きくて枚数の多い徒長枝を残した方が養分を作り出す量が多くなるため、障害が無ければ残すのも一つの手段とのことであった。



元葉が大きい徒長枝は養分を多く作り出す



年次が無く元葉が無いものは切る対象となる

障害果が問題の恋空

恋空研修会では、昨年も話題となった芯カビ果の見分け方と、日焼け果を出さない為の葉摘みの方法について確認した。

恋空は、品種の特性として芯カビ果の発生が多く見られる傾向にある。障害果の有無は早くからのがくあ部の着色で概ね判断することが出来る。

また、正常果であってもがくあ部の着色を待つ事は、果実の軟質化を招く為、収穫遅れは注意が必要である。



恋空の障害についても説明



このように芯カビになっている可能性が高い



早い段階でがくあ部が着色していると



このような着色具合が理想となる



がくあ部まで着色し軟質化した果実

ポイントは、果実に付着している葉のみを摘み取るという事。付着している葉をそのままにしておくと日焼けに対する不安は少ないが、着色していない部分が多くなり、等級が下がる可能性が高まる。よって、葉とらずにしよう

と、全体的に着色できずに裾もののリンゴが多くなってしまう。付着した葉を丁寧に摘むことで、裾ものの果実を減らす目的がある。同時に、当JAで推奨している着色優良系統のつがるに品種更新をする事も、葉を過剰に摘む事無く着色が進むため、併せて更新を検討して頂きたい。

日焼けを抑える着色管理

昨年問題となった日焼け果。葉取り作業時やその後高温が続くことで、果面の温度が上昇し日焼け果が発生する。この問題を軽減する葉摘みの方法を説明した。

新しい着色目安として過度な葉摘みを抑えるために、果実の4分の1までの葉形、枝形は特選とした事で、葉とらずとの差は何なのか疑問に持っている生産者もいるだろう。



着色優良系統の「ひらかつがる」



今年も発生している日焼け果

つがるや早生品種の葉摘みの目安

日焼け防止の葉摘み後



葉摘み前



付着した葉を摘み取るだけで着色する為、過剰な葉摘みは行わない

残った葉で果実に日傘を創るイメージ

葉摘みと言っても南側北側であることや下枝上枝に位置している事で、葉摘みの仕方が変わってくる。例えば南側に成っている果実であれば過剰な葉摘みを行わなくても、日光が当たる為着色が進む。逆に北側であれば日光が強く当たることが少ない為、南側よりも強い葉摘みが必要となる。

このように果実の成っている場所で葉摘みの仕方を変える事で効率良く着色を進め、葉の枚数を確保できる。

※上写真は下枝に成った果実である

従来の葉摘み後



過剰な葉摘みによって日焼けが発生する

産地一体となった取組

今回、恋空、飛馬ふじ研修会の内容を紹介したが、今後紫外線が強く気温が高い日が続くこの時期に、葉摘みをする早生ふじ系の品種も同じ方法で取り組んで頂きたい。

また、研修に参加できなかった生産者には、この記事を参考に葉摘み作業を進めて頂きたい。

この取組を生産者一丸となって取り組むことで、鮮度維持や良食味等のイメージアップにもなり、その結果所得向上へ繋げていく事が出来る。

現在消費地では、果実の軟質化により「早生品種のリンゴは赤いと軟らかい」といったイメージが持たれている。

コロナ禍で試食販売が難しいとされているが、こうした鮮度と食味を重視の取組を続けていく事で、消費地の信頼を得ることができ、産地の維持へと繋がっていく。

これからの温暖化に対応していくよう、当JAでも対策を講じて参ります。

topics

りんご
出荷生産者大会開催
01



新しいりんごの取扱いに耳を傾ける生産者ら

7月12日、長慶閣にて2021りんご出荷生産者大会が行われ、約90名の生産者が参加した。今年も、つがるや早生ふじ系の新しい選果基準の設定とサンふじの取扱区分の増設を行う事から、感染症対策を講じて開催した。大場勉組合長は「令和2年産は、目立った台風などの災害もなく目標を超える販売高で終わることが出来た。今年産も有利販売で生産者の所得向上に努めていきたい」と挨拶した。

topics

笑顔で優勝報告
02



本所前で記念撮影

7月14日、相馬小学校の児童が主となる小学校野球合同チーム「相馬ドリームキッズ」の児童14名がJA本所の役員室を訪れ、全国スポーツ少年団軟式野球交流大会東北ブロック代表決定大会の優勝報告を伝えた。キャプテンの蝦名陽翔君は「JAの応援のおかげで良い結果を報告することが出来ました。また次の試合もトロフィーを持って来ます」と力強く大場組合長へ伝えていた。

topics

新しいSSで
安全に快適に
03



新しいSSを囲んで記念撮影

7月15日、湯口共防はSS更新に伴い、安全祈願祭を行った。湯口共防にはSSが6台あるが、その内の1台の老朽化が進んだことから新車を購入した。共防長の山内明さんは「キャビンのSSが安全で快適であることから、共防内で人気となっている。キャビンのSSを増やし、安全に作業出来る環境を作っていきたい」と話した。今年で60周年を迎える湯口共防のこれからの活躍に期待したい。

topics

楽しく読んで
勉強して下さい
04



笑顔でちゃぐりんを受取る三浦図書委員長

7月15日、相馬小学校の全校生徒に「ちゃぐりん」の贈呈が行われた。当JAの三上隆基専務が6年生の三浦のみ図書委員長に109冊を贈呈した。贈呈された8月号にはカブトムシ図鑑や野菜を紹介した畑図鑑、JAの歴史について等多くの事が書かれている。三浦図書委員長は「みんなのちゃぐりんを楽しみにしていました。夏休みに読んで勉強します」とお礼を述べていた。



種類豊富な雨具コーナー

7月17日、購買課では夏の大売り出しを湯口支所にて開催した。同日は、農業機械類や三脚、雨具、長靴、生産資材などが通常よりも安く売り出され、中でも雨具コーナーは人気のメーカーや数量限定の物などが大人気で、品定めをする来場者で賑わっていた。

訪れた生産者は「いつもこのイベントで農作業に必要なものを揃えている。安くて助かっています」と笑顔で買い物を楽しんでいた。

topics

夏の大売り出し大盛況

05



感水紙を確認し、薬剤散布を見直す会員ら

7月20日、相馬村農協りんご共同防除組合連絡協議会では夏期研修を行い、感水紙を使って薬剤散布時にどのくらい薬剤が行き届いているのかを確認した。

研修は中南地域県民局農業普及振興室が進行し、黄色い感水紙に薬剤がかかり、濡れて部分的に青くなった部分を見た会員らは、意外と内枝に薬剤が行き届いていない事を確認し、往復散布する等今後の薬剤散布に役立てようという意気込んでいた。

topics

散布ムラはないか確認

06



インボイス制度について研修を聞く会員ら

8月2日、JA相馬村農業青色申告会は午前中に夏期記帳研修会、午後には税務研修会を行った。

そのうち税務研修会では、薬師山正人税理士がインボイス制度や国民健康保険、市民税、後期高齢者医療保険の算出方法について話した。

溝江尚樹会長は「毎年会員らは薬師山先生の笑いを交えた話を楽しみにしています。今回の研修を活かして確定申告の時にスムーズに進めたい」と話していた。

topics

青色申告会
夏期研修開催

07



農薬容器が大量に持ち込まれていた

8月4、5日、湯口支所と相馬支所にて2回目の農業用廃プラスチック回収が行われた。

昨年夏までの回収は約480kgであったが今年は820kgと、約1.7倍の量となった。

新しく春に1度回収を設けたことや広報6月号で取り上げたことで、共防単位での参加も増えていた。今後も適正な処理方法で廃棄できるように取り組みを進めていきたい。

topics

廃プラスチック
回収量増加

08

直売所「林檎の森」

直売所 三上翔平



いつも直売所「林檎の森」をご利用いただきありがとうございます。

とにかく早くから暑い今年の夏ですが、直売所では、朝採り嶽きみで大人気の新加賀谷農園のとうもろこしが8月1日より入荷しています。

初日から沢山のお客様で賑わい、嶽きみの人気ぶりを改めて感じています。

現在出ているとうもろこしの品種は、「めぐみ」という品種になっています。実が大ぶりで食べ応えがあり、とても甘みが強く生でも食べられるほどです。

来月にはめぐみ同様、甘さが強く粒皮が柔らかい「味来」という品種も出始める予定です。

大人気商品のため、早ければ午前中で売り切れの可能性もありますので早めのご来店をおすすめします。

そのほか、林檎の森では嶽きみの地方発送も承っておりますのでぜひ遠方の親戚、友人等に送って

みてはいかがでしょうか？

スイカも出荷のピークを迎えており、名産つがる市木造地区の美味しいスイカが入荷しています。そのほかメロンや桃も入荷しておりますので、おいしい食材を沢山食べて暑い夏を乗り切りましょう。

これからまだまだ暑い日が続くそうなので、仕事や農作業の休憩に林檎の森のおすすめラフランスのソフトクリームやシェークで暑さをクールダウンして下さい。また、夏バテを吹き飛ばすサラダから揚げ物などの惣菜も沢山ありますので、是非お買い求め下さい。スタッフ一同ご来店をお待ちしております。



嶽きみの発送は縦詰めにして鮮度維持に努めます



お気に入りの惣菜を食べて夏バテ解消!!



毎日大盛況の嶽きみコーナー

これから注目の商品!



歯ごたえが楽しめる早生の枝豆

8月に入り早生の枝豆が入ってきました。これから9月中旬頃に中晩生種、10月頭頃に晩生種と入荷して来る予定となっています。早生種は歯ごたえが楽しめ、晩生種になるにつれて味が濃くなつてきます。好みに合わせてお買い求めください。また、枝豆には「メチオニン」という肝機能の働きを助ける栄養素や疲労回復に効果のあるビタミンB1、B2が含まれています。猛暑で疲れた体にビールと一緒にご賞味ください。



いつも当スタンドをご利用いただき誠にありがとうございます。

さて、先月7月14日から7月31日まで行われた「あなたにあたってキャンペーン」は無事に大盛況で終わることができました。たくさんのご来場ありがとうございました。

そして8月1日からQR決済の取り扱いを開始しました。こちらは、各種PAYで給油、洗車が可能でキャッシュレスで便利になりました。一部のPAYで使った金額に応じてポイント還元キャンペーンを実施中ですので詳しくは店頭の掲示物をご覧ください。
今後、QR決済のご使用時に不明な点がありましたらスタッフまでお声がけください。



② QRコード決済ブランドを選択



① QRコード決済を選択



④ 選択した後確認ボタンを押す



③ 油種を選択後数量指定・金額指定を行う
※満タン給油はありません



一ヶ月ごとに各種ブランドでポイント還元キャンペーンを行っている



⑤ 画面に出たQRコードを読み込んで決済を行い、給油を開始する

QRコード決済

での給油方法

生産情報

農業振興課主任 米澤 松太



○りんご作業 (8/15～9/15)

管内のりんごの肥大は、8月2日現在でふじが63.9ミリと、昨年とほぼ同じ生育となっています。

	湯口	紙漉沢	相馬	平均	前年比	平年比
つがる	69.9	71.9	70.8	70.9	103.4%	106.1%
王林	66.0	59.6	63.3	63.0	107.3%	105.9%
ふじ	63.3	63.9	64.6	63.9	100.5%	107.8%

※単位は (mm)

○見直し摘果を行いましょう

品質向上に向けて、成りすぎた部分の樹上選果を徹

底しましょう。

また、葉摘みの際でも果形が悪い果実は積極的に摘果し、適正着果に仕上げてください。

※黒星病の罹病果について

摘果した黒星病の罹病果は、来年の発生密度を増やさないためにも、摘み取った果実は、必ず園地内で焼却するか、土中に埋める等の処理を行ってください。

○適期収穫を目指しましょう

「つがる」や「きおつ」などの早生種では、晩生種と異なり熟度が揃いにくく、収穫適期の判断が難しいため、カラーチャートや各フルーツステーションに用意する収穫目安のサンプルを参考に適期収穫に努めてください。

9月に入り長雨が見込まれる場合には、無袋果のスズ斑病対策が必要になりますので、9月中旬をめぐりに特別散布を実施して下さい。ただし、前回との散布間隔が15日以上開いてしまう場合には、その前に散布して下さい。

なお、薬剤散布の際には、散布する薬剤の収穫前日数に十分注意して下さい。

○水稲

今後は登熟期に入ります。高温時には時々水の入れ替えを行い根腐れ防止に努め、低温時には深水にし、登熟促進に努めて下さい。カメムシ被害軽減のため、9月に入るまでは畦畔の草刈りは実施しないようにして下さい。

薬剤の使用基準一覧

殺菌剤	収穫前基準	使用回数	殺虫剤	収穫前基準	使用回数
オーソサイド (水)	前日	6	サイハロン (水)	7日	3
ストライド (顆水)	前日	3	バイスロイドEW	7日	4
ベフラン (液)	前日	3	イカズチWDG	前日	2
ダイパワー	前日	3	ファイブスター	前日	1
			フェニックスF	前日	2
			サムコルフ	前日	3
			バリアード (顆水)	前日	3

散布計画

回数	散布量	散布時期	基準薬剤	希釈倍数	備考
11	500㍓	8月下旬	ダイパワー サムコルフ 又は フェニックス カルシウム剤	1000倍 5000倍 4000倍	○前年黒星病・炭疽病の発生が多く見られた場合は、オーソサイド (水) にベフラン (液) を加用して散布する。 ○9月上・中旬に無袋果のすす斑病すす点病対策として効果のある薬剤を散布する。
特散	500㍓	9月中旬	ベフラン 又は、オーソサイド 又は、ストライド	1500倍 800倍 1500倍	

りんご病害虫防除暦 (第11回目・特別散布) ※生態の早まりにより散布時期に若干のズレがあります。

果実販売動向

販売課 田中 瑠偉



7月の果実動向は、スイカについては、全国猛暑日続きの影響により、引き合いの強い状況が続き、堅調な価格推移となりました。

メロンについては、各産地が前進傾向で推移しているなか、売場が確保されていることから安定した荷動きとなっています。

桃については、豊作傾向の山梨産が減少し、総体数量が少ないなか、高値基調の大玉については荷動きが限定的ではありますが、売場は広く確保されていることから中・小玉については堅調な販売となりました。

りんごについては、夏果実の売場が広く維持されていることから売場は狭く、ふじについては内部褐変による早期出荷で数量が抑制され、強保合いで推移した半面、後半にずれ込んだシナノゴールド・シナノゴールドについては潤沢な出回りとなり、厳しい販売が続いています。

今後、ふじ・和梨等については

は前進出荷傾向で数量減の見込みであり、また、8月上旬より長野県産を中心に早生りんごがスタートしますが、青森県産りんごの在庫が多いことから、引き続き厳しい販売が予想されます。産地市場のりんご部が3日から開始しましたが、年々極早生りんごの需要は少なく、価格はとれていない状況です。昨年産のシナノゴールド・シナノゴールドについては、8月いっぱいの販売見通しであり、流通在庫も滞ることが予想され、サンツがる・きあつの販売にも影響を及ぼす可能性が確実であることから、企画販売と早期出荷により有利販売に努めます。

全農あおもりデータ（7/31累計）、在庫数量は県りんご果樹課作成（6月末）

品 種	サンふじ	ふ じ	王 林	ジョナ	その他	合 計
単 価 (円)	2,459	3,548	2,675	2,770	2,693	2,602
前 年 比 (%)	77	78	89	72	91	82
在 庫 数 量 (ト)	5,231	8,685	1,649	5,642	2,435	23,642
前 年 比 (%)		176	294	255	413	285



恋空の選果がスタート



今年度初出荷となる極早生りんごメルシー

青年部通信

事務局 小野 朋宣



青年部では、7月9日に第56回通常総会を開催した。部員32名が参加し、新型コロナウイルス感染症拡大防止徹底して行われた。

コロナ禍であることから出席数に心配されたが、全体の半数以上の出席が確認されたことから総会を無事成立することができ、議案も全て承認された。

議事では、本総会から参加した新入部員が「なぜ基幹産業のりんご栽培ではなくもち米栽培を事業としておこなっているのか」「ポリシューブックとは何か」といった質問があり、青年部活動を改めて振り返っていた。

祝辞では当JA三上隆基専務理事から「今総会をもって勇退される方はお疲れさまでした。この青年部に入室したことは宝物となります。私自身も青年部に入室して

いましたが、現在でも当時の部員らとは畑の話をしたり、プライベートの話をしたりする仲間です。皆さんの周りにまだ入室していない人がいたら、声をかけて仲間を増やして下さい。」と青年部時代の経験を交えながら青年部の大切



部長として最後の挨拶をする柴田部長



仲間の大切さを話す三上専務

さを話した。

議事終了後、役員改選した役員が前に並び、1人ずつ抱負を述べた。このうち宮川貴彦新部長は「みなさんの意見や要望を出しやすい環境を作り、それを取り入れて、今まで以上に青年部が地域で活躍出来るように努力していきたいと思いますので、これからよろしく願います」と力強く語った。

新役員紹介

部長 宮川 貴彦(藤 沢)
 副部長 成田 祐介(紙漣沢)
 副部長 溝江 翼(湯 口)
 会計 大場 隼人(紙漣沢)
 役員 今 大介(昴)
 監事 福島 秀幸(藤 沢)
 監事 福田 耕正(桐の木沢)



抱負を述べる宮川新部長 (左)

地域おこし協力隊 活動記 Vol.75



津軽藩ねぶた村より講師の檜山さん。(写真上段→)

金魚ねぶた作りの最初の作業である墨書き。みんな真剣な眼差しです！(写真中段→)

ロウ書き作業。ロウの温度は150℃、気を付けながら作業をしました。(写真下段→)



参加者全員で記念撮影☆



完成した作品と一緒に「はいチーズ♪」(←写真上段)

石田隊員作成の相馬ねぶたクイズに挑戦中！(←写真中段)

お囃子の生演奏に合わせてみんなで「ヤーヤドー」(←写真下段)



こんにちは！ 協力隊の佐野です。

去る7月29日(木)に、中央公民館相馬館研修室において『金魚ねぶた絵付け体験』がおこなわれました！

新型コロナウイルスの関係で、残念ながら二年連続で「弘前ねぶた祭り」は中止となってしまいました。祭りのじゃわめぎを家族で楽しもう！との思いから、津軽藩ねぶた村より講師をお招きし、今回の体験会の開催となりました。

小学生のみんなは、真っ白な金魚ねぶたに①墨書き②ロウ書き③色付け、とそれぞれ思い思いの金魚ねぶたを作成しました。また、多世代間交流として、高齢者教室のおばあちゃん達も一緒に色付け体験を楽しみました。

そして、体験会の最後には、お囃子の生演奏に合わせて参加者みんなで「ヤーヤドー」の掛け声を、元氣いっぱい会場に響き渡らせました！

来年は、弘前ねぶた祭り三百年祭です。コロナ収束に向けて、それぞれが感染対策を講じたり、我慢の日々を現在過ごしています。

来年こそは、三年ぶりとなる合同運行が開催されることをただただ願います！

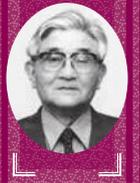


(*) 相馬地区公式HP (<http://www.city.hirosaki.aomori.jp/soma/>)



農協役員室で——ネズミ盗聴記

元農協学園長
秋田 義信



農協の役員室。油・売りとオンベ
とマメコバチが居てゴダグ（語駄
愚）をしゃべっている。
油売り「盆が過ぎると衆議院の選
挙か」

オンベ「世論調査では菅内閣の支
持率が40%以下ですな」
マメコバチ「どうも、あの人は暗
い感じがしてな——、笑顔が少な
いよ」

オンベ「努力家で苦勞人だったか
らよ」

油売り「あれでは選挙のネンプタ
にならないな」

マメコバチ「ところでテレビの
ニュースに、よく「そういうケー
スが以前にもあった」などと度々
出るが、なぜ、そういう例がある、
と言わないのだ。ケースだと眼鏡
のケースとかシーツケースとか、
容器の意味で使われるのが一般的
でしょ」

油売り「それから、『そういう事
案がある』などと国会で議員が言
うなあ——。事件と事案と事変、

どう違うのだ」
オンベ「いいか、昭和十二年に日
本の陸軍が中国の北京郊外で中国の
軍隊とオツパジメタ。支那事変だ。
日中戦争の
始まりだ。
その前年の
二月二十六
日、東京の
陸軍の一部
が首相官邸
を襲撃した。
いわゆる
「二・二六
事件」だ」

油売り「そ
れから？」
オンベ「○
○家ののダ
ンナが、最
近、毎晩の
ようにカジ
マチへ行っ
ているとい
うので、カッ

チヤが実家へ行って三日間も帰って
来ないという事案もある……どうだ」
「二・二六事件」に参加し、
処刑された将校の中に、青
森市出身の対馬勝雄中尉も。
対馬中尉はりんご協会参事
をつとめた波多江久吉さん
の夫人の兄

人生

登山は苦しく
(若いとき)

下山はあずかしい
(老後)

九五老

理事会だより

7月5日(月)

- 1) ライスセンタープラント工事入札契約方法について
- 2) ライスセンタープラント工事入札指名業者の決定について
- 3) ライスセンタープラント工事入札設計要項書及び基本設計書について

7月21日(水)

- 1) 組合員の加入について
- 2) 組合員名義変更について
- 3) ライスセンタープラント工事入札予定価格の決定について
- 4) ライスセンタープラント工事入札会

編集部をつぶやき～編集後記～

いつも広報誌「林檎の森」をご講読ありがとうございます。
毎日猛暑日が続きお仕事大変だと思いますが、今回の特集ではこの
暑さに対応したリンゴの栽培管理などを企画させて頂きました。今後
気温の上昇が見込まれる中それに対応した作業が必要となっている事
から、産地一体となって取り組んでもらえたらと思います。
そしてコロナ禍に対応した生活とプライベートの楽しみ方も考えて
いきたいと思っています。来月号も「林檎の森」を宜しくお願いします。

By tomoshi

- 1) 令和2年度棚卸・現金監査結果について
- 2) 令和2年度決算について
 - ①事業報告、貸借対照表、損益計算書(別紙)、注記表附属明細書、剰余金処分案、事業別の明細について
 - ②自己資本比率について
- 3) 令和3年度事業計画(案)について
- 4) 共済規程の変更について
- 5) 余裕金運用規程例の一部改正について
- 6) ①令和3年度借入金の最高限度について
 - ②令和3年度余裕金運用について
 - ③1組員に対する信用供与等の最高限度額及び組員に対する貸付金の利率の最高限度について及び同人に対する貸付金の利率の最高限度について

- 率の最高限度について
- ④組員以外の者1人に対する信用供与等の最高限度額及び組員以外の者に対する貸付金の利率の最高限度について及び同人に対する貸付金の利率の最高限度について
- 7) 資産査定結果(貸倒引当金等)について
- 8) 不良債権四半期報告について
- 9) りんご販売関係について
- 10) 組員の加入・脱退について

- 報告事項1 第57回通常総会までのスケジュールについて
 報告事項2 JAバンク基本方針の変更について
 報告事項3 内部監査結果報告について

20 19 18 16 14 10 8 7 6 3 1

1 中東の国の一つ。首都はバグダッド
 台風に備えて閉めておこうかな
 すしのしゃりにのせます
 9月の第3月曜日は——の日。国民の日です
 難しくありません
 町火消しが火事場で振った物
 草木も眠る——時
 夕方「カナカナカナ……」と鳴くセミ
 ハウスみかんの生産量が日本一の県
 鼻からあごまでを覆つように着けます
 十五夜に楽しむもの

【タテのカギ】

パズル? 頭の体操

出題 ニコリ

Q 二重マスの文字をA~Eの順に並べてできる言葉は何でしょうか?

- 1 米の収穫作業の一つ。手で行うときは鎌を使います
- 2 家具などに使う籐(とつ)のこと
- 3 アルファベットの9番目
- 4 フランス語で栗のこと
- 5 1位が金、2位が銀なら3位は阿倍仲麻呂や吉備真備などがこの役を果たしました
- 9 鉄砲に込める物
- 11 チョキがはさみならグーはボール紙のことをこう呼ぶことも釣りに使う透明な糸
- 13 宗谷、室戸、足摺といえは
- 16 何もすることがない状態です
- 17 喜・怒・哀——

【ヨコのカギ】

1	6	8			16	19
2				13		B
		9	10		17	
	7			14		
3			11			20
4				15	18	
5			12			

答えは広報「林檎の森9月号」にて掲載いたします。
7月号の答え A:リ B:ツ C:シ D:ユ E:ウ

表紙物語

今月の表紙は、8月2日から6日まで湯口SSにて、相馬ねぶた愛好会のねぶたが飾られた期間限定の様子である。

去年に引き続き、今年も弘前ねぶた祭が中止となったことから「少しでも地域の人達にねぶたの気分を味わってもらいたい」と言う福島直人会長の思いから実現した。製作期間は3カ月間程で、久しぶりのねぶたの活動に役員らは制作に奮闘していた。

完成したねぶたには「疫病退散」と肩に書かれており、早くコロナウイルスが終息し、またねぶたを地域一体となって楽しみたい思いが込められている。

湯口支所に飾られたねぶたは存在感がともあり、給油中の方や待機中の方の目を引きつけていた。

福島会長は「弘前ねぶた祭が無くて多少でも地域の人々がねぶたまつりの気分になってくれると嬉しい。来年こそは祭の開催を願っている」と話していた。



2年ぶりのねぶた作成に熱が入る会員ら



役員で完成の記念撮影



コロナ終息を願った「疫病退散」の文字



鮮やかな色で見た人を圧倒させる袖絵と見送り絵

JA相馬村広報

りんごのもり
林檎の森

2021.8 Vol.469

■発行者
相馬村農業協同組合
〒036-1593 青森県弘前市大字五所字野沢23-1
TEL.0172-84-3215 FAX.0172-84-3497

■編集
総務課広報
ホームページURL <http://www.ja-souma.or.jp/>
e-mail:soumuka@ja-souma.or.jp

■発行日
2021年8月21日

JA 相馬村概況

〈令和3年7月末日現在〉

組合員数	864人
（うち准組合員数	373人）
出資金	618,010千円
貯金額	9,754,138千円
共済保有高	3,239,552万円